

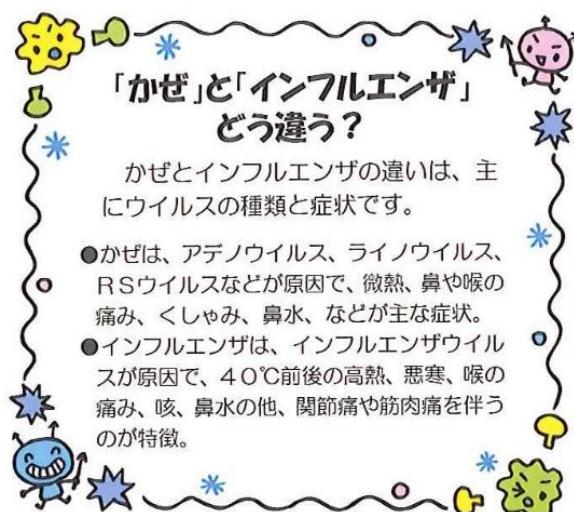
# 1月 童心会 保育所 保健だより

令和7年度 第10回 1月5日

社会福祉法人 童心会



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。本格的な寒さが続いています。手洗い・うがいをしっかり行い、元気いっぱい冬ならではの遊びを満喫しましょう。



## のどつまりには要注意！！

### 気をつけたい食品やものは？

- もちや団子、グミなどの粘着性の高い物
- ブドウやミニトマトなど、球状のもの、ツルツルしたもの、弾力があるもの
- 3~4cm以下の小さなおもちゃや日用品

### 食事の時のチェックポイント

- 食べやすい大きさになっている？
- しっかりかんでる？
- 水分を取りながら食べてる？
- 遊びながら食べてない？



食事の時に食べ物がうまく飲み込めないとのどに詰まらせてしまうことがあります。1歳半頃までの乳幼児は、ものをうまく飲み込む機能が未発達のうえ、大人のように食べものを噛んだりすりつぶしたりすることが上手にできず、のどにものを詰まらせてしまうことがあります。また、子どもの口の大きさは直径3~4cmくらいなので、これより小さいものは食べ物の以外のものでも口の中に入れてしまいます。食事時以外でも、身の回りに口に入れてしまいそうなものがないか、こまめにチェックしましょう。



## {これからの人間教育が目指すもの}

### ～“新しい人間文化の創造”という考え方～

新年あけましておめでとうございます。

私たちはいつの時代にあっても、ともすれば“自分だけの幸せ”を考えることが多かったと思います。しかしこれからの“人間教育”は「生命を授けられた時から死を迎える時まで」の生涯教育を目指すことなのですから、「Human health care goal（ヒューマン ヘルス ケア ゴール）」の意味を見つめていかなければならないと思っています。

即ち「人はどう生き、どう真に在る存在なのか」という人間文化そのものを問い合わせることなのです。だから私たちは「個人の幸福」だけではなく、地域・社会・次世代までをつなげていく責任があるのです。そのため一人ひとりが“自分自身の人間性”を高めていかなければならないのです。

- 1) 身体の健康
- 2) 脳の健康
- 3) 心の健康
- 4) 社会的つながり
- 5) 生きている意味・価値・目的
- 6) 他者への貢献
- 7) 地域貢献

改めて、私たちの責任と役割とは「健康な生き方を循環（元の状態にかえり、それを繰り返すこと）させること」であります。

私たち(社福)童心会の人間教育とは、人として生き続けること、そのものを学び続ける“道”であると思っています。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



理事長 中山勲 拝

